

KOGAKUIN RACING TEAM

月間活動報告書

2026 March



KRT

KOGAKUIN RACING TEAM

CONTENTS

- ・チームリーダー/
テクニカルディレクター挨拶
- ・3月の日程/4月の予定
- ・各セクションの活動報告
- ・スポンサー様一覧
- ・連絡先



KOGAKUIN RACING TEAM



チームリーダー挨拶

チームリーダー 石井伶奈



春暖の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

3月には中旬に無事シェイクダウンを終え、例年より早い段階から静的審査に注力して取り組むことができました。皆様のご尽力の賜物と深く感謝申し上げます。

4月にはいよいよ新入生を迎えます。より強固なチームの地盤を築くため、多くの方に活動へ興味を持っていただけるよう、準備を進めてまいり所存です。

本年度も、メンバー一同全力で取り組んでまいります。引き続き、温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

テクニカルディレクター挨拶

テクニカルディレクター 松本悠暉



陽春の候、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

3月13日、本学キャンパス内にて新型車両のシェイクダウンを実施いたしました。3月中に走行を開始できたのはチーム歴代初の快挙となります。今シーズンは「早期シェイクダウンによる実測データの最大化」を最優先目標に掲げ、チーム一丸となって開発を進めてまいりました。その一貫した方向性が、今回の結果に結びついたと考えております。当日は大きなトラブルもなく、非常に幸先の良いシーズンスタートを切ることができました。

また、3月21日には富士スピードウェイにて試走を行いました。スキッドパッドを用いた足回りのセットアップに加え、直線コースではエアロデバイスの性能実測を実施しました。現在は、実走行で得られたデータを着実に蓄積し、マシンの熟成を図っている段階です。早期完成というアドバンテージを最大限に活かし、大会本番に向けてさらなる性能向上に励んでまいります。今シーズンも変わらぬご期待とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



3月の日程、4月の予定

2026年3月

	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日
パワトレ	パーツのステー類すり合わせ						
足周り	カラー製作			組付け			
シャシ	製作						
エアロ	製作						

	3月8日	3月9日	3月10日	3月11日	3月12日	3月13日	3月14日
パワトレ	車検適合				初爆	シェイクダウン	
足周り	干渉確認	接地	ブレーキ類整備			シェイクダウン	
シャシ	製作					シェイクダウン	
エアロ	製作					シェイクダウン	

	3月15日	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日	3月20日	3月21日
パワトレ	車検適合		エンジン整備講座			試走準備	富士試走
足周り	予備パーツ製作				アライメント		富士試走
シャシ	コスト・組付け						富士試走
エアロ	コスト・製作						富士試走

	3月22日	3月23日	3月24日	3月25日	3月26日	3月27日	3月28日
パワトレ	コスト・デザイン審査準備						
足周り	試走データ整理			予備パーツ製作			
シャシ	コスト・デザイン審査準備						
エアロ	コスト・製作						

	3月29日	3月30日	3月31日
パワトレ	コスト・デザイン審査準備		
足周り	コスト・デザイン審査準備		
シャシ	コスト・デザイン審査準備		
エアロ	コスト・デザイン審査準備		

2026年4月

	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日	4月5日	4月6日	4月7日
パワトレ	コスト・データ収集		新入生歓迎会	JARI試走	コスト・データ収集		
足周り	組付け	アライメント	新入生歓迎会	JARI試走	試走データ整理		
シャシ	コスト・試走準備		新入生歓迎会	JARI試走	コスト		
エアロ	コスト・データ収集			新入生歓迎会	JARI試走	コスト・データ収集	

	4月8日	4月9日	4月10日	4月11日	4月12日	4月13日	4月14日
パワトレ	コスト						
足周り	POU実測	コスト				塗装	
シャシ	コスト						
エアロ	コスト・データ収集						

	4月15日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日
パワトレ	コスト・デザイン						
足周り	コスト			デザイン			
シャシ	コスト・デザイン						
エアロ	コスト・データ収集						

	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日	4月27日	4月28日
パワトレ	コスト・デザイン・試走準備				日野試走	デザイン	
足周り	塗装	組付け	アライメント	日野試走	試走データ整理		
シャシ	コスト・デザイン・試走準備				日野試走	デザイン	
エアロ	コスト・データ収集				日野試走	コスト・データ収集	

	4月29日	4月30日
パワトレ	デザイン	
足周り	デザイン	
シャシ	デザイン	
エアロ	コスト・データ収集	



各セクションの活動報告

パワートレイン班

パワートレイン班リーダー 先進工学部機械理工学科 3年 朝日大介



3月のパワートレイン班は試走会に向け、エンジンを分解し、点検後に組み立てを行いました。弊チームは本田技研工業株式会社様の二輪車用エンジンを使用しております。そして学生フォーミュラではエンジンの整備まで自分たちで行います。こちらはトランスミッションを見えるように組み立て、新入生歓迎会で披露する予定です。

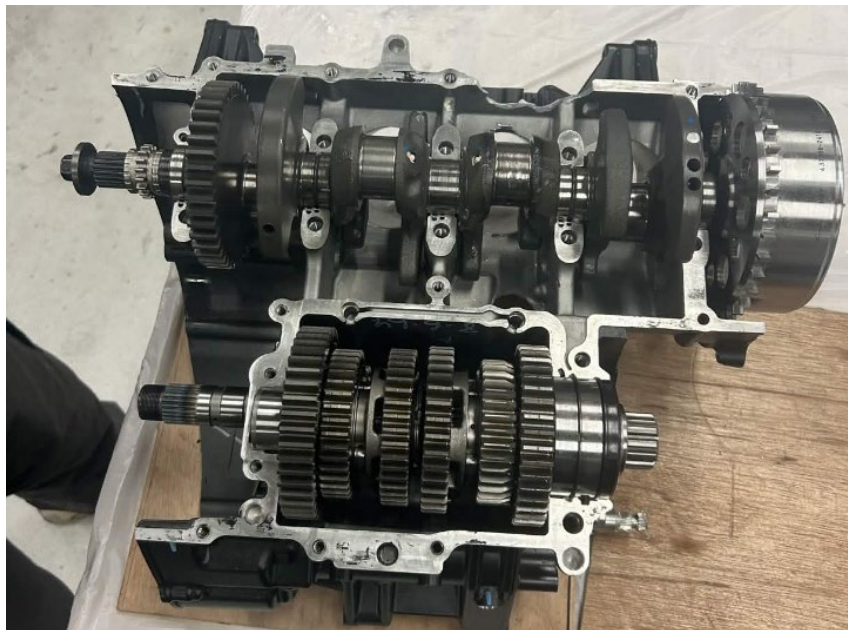


Fig.1 エンジン組み立ての様子

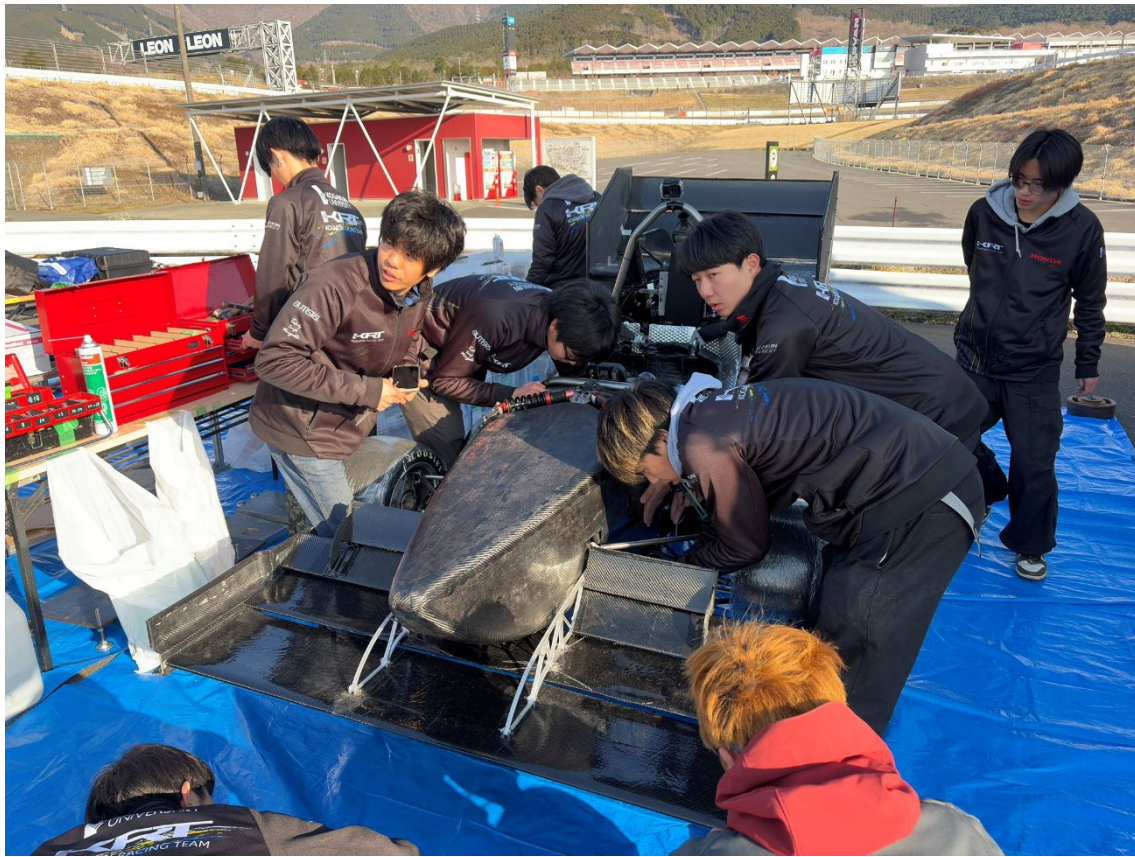


Fig.2 富士試走の様子

4月5日にはJARIでの試走会を控えております。こちらに向けて、チェーンのメンテナンスと冷却ラインの安全性を高めてまいります。

また、並行してコスト審査への準備も並行して進めております。現在既に70%ほどの進捗となっております。提出まで残り1か月となっておりますが、気を抜かずチーム全体で取り組んでまいります。



足回り班

足回り班リーダー 工学部機械工学科 3年 高橋真育



今月は、大学の敷地内において車両のシェイクダウンを実施いたしました。実走行を通じて各パーツ間の干渉の有無や、設計通りに動作しているかの確認を行いました。

シェイクダウンでは特に大きなトラブルは発生せず、順調に周回数を重ねることができました。また、車両の基本的な特性についても問題なく確認することができました。今年度車両ではダンパー平面の改善によりアップライトの上下変化量が左右とも近い値となったことにより、ステアリングに対してセンターに戻ろうとする力を減少させることに成功し、昨年度の課題であったPOU(Pushrod On Upright)によるステアリングの重さやステアリングフィールの少なさが改善したことを確認することができました。

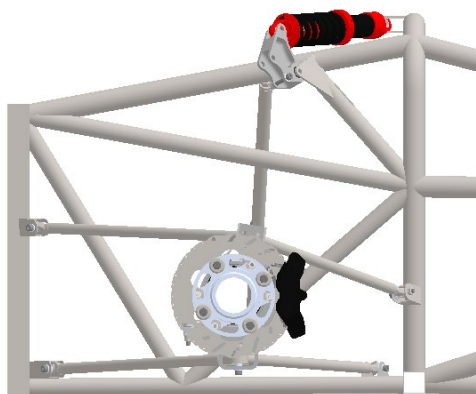


Fig.3 KRT25 のダンパー平面

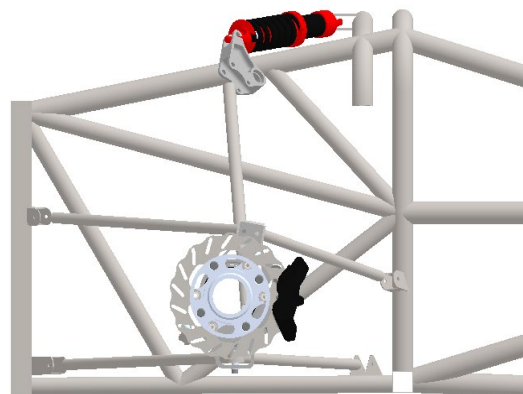


Fig.4 KRT26 のダンパー平面

また、富士試走を実施いたしました。スキットパッドを用いた評価を行い、完成した車両と設計値とのずれがあるかについての確認を行いました。加えて、車両データの取得・メカニカルグリップのセットアップにおいては、走行映像やラップタイム、ドライバーからのフィードバックを基にキャンバー角の調整を行いました。また、車両をニュートラルステア特性に近づけることを目的として、POUの取り付け点位置を変えながら、さらにスタビライザーを用いてロール剛性配分を変更し、セットアップを行いました。富士試走では速いタイ



ムを出すことを目的としておりませんでした。スキットパッドにおいてベストタイムとして4.9秒を記録することができました。昨年度のベストタイムに対してシェイクダウンながら迫ることができたことから、KRT26の高いマシンポテンシャルを確認することができました。



Fig.5 富士試走での走行の様子

今後の試走会では、Rの異なった定常円を用いて中速コーナーにおけるフロントのメカニカルグリップの向上を目的として実施する予定です。また、POUの取り付け点をさらに変更した状態での走行を行い、タイムやドライバーフィーリングにどのような変化が起きるのか実測する予定です。



シャシ班

シャシ班リーダー 工学部機械工学科 3年 結解和宏



3月は、接地・シェイクダウンに向けての製作と静的資料の作成を同時並行で行うことに注力し、活動してまいりました。

・ステアリング

ラックギヤマウントについては当初、5軸加工での製作を予定しておりましたが、今後のスケジュールを考慮し、フライス盤による加工が可能な形状へ変更のうえ、シェイクダウンを実施いたしました。ステアリングにガタつきが確認されたため、今後は当該箇所の改善を進めるとともに、実測に向けた準備を進めてまいります。

・フレーム

フレームでは昨月に引き続き、フレームの単体完成に注力しました。

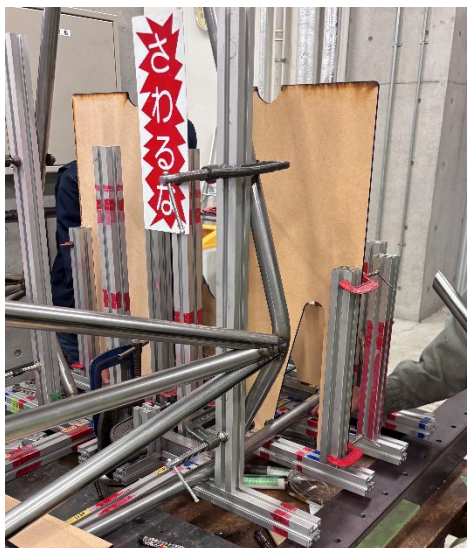


Fig.6 ミッドセクションの製作



Fig.7 リアセクションの製作

また、企業様より支援していただいたパイプカットにより、溶接をスムーズに進めることができました。



また、3月9日にはすべての周溶接が完了し、無事接地することができました。



Fig.8 接地の様子

・ SES

残念ながら、初回提出での合格は叶いませんでした。4月9日の二回目提出に向け修正に励みます。



Fig.9 提出した SES

・ ペダル

ペダルについてもラックギヤマウントと同様に、5軸加工での製作は困難と判断し、フライス盤で加工可能な形状へ CAD データを変更いたしました。

今後は、5月3日～5日に予定されている JARI 試走に向けて、製作を進めてまいります。



エアロ班

エアロ班リーダー 工学部機械システム工学科 3年 菊地祐汰



今月は、今年の主な目標の一つであった「シェイクダウン時にフルエアロ仕様とする」という目標を達成することができました。これまで設計・製作を進めてきた各エアロパーツを車両に搭載し、実際の走行環境で機能させる段階まで到達できたことは、大きな前進であると感じています。エアロパーツの製作にあたっては、多くの企業様より資材提供や加工のご支援をいただきました。この場をお借りして、改めて深く御礼申し上げます。

製作面では、限られた期間の中で積層や仕上げ、組み付け作業を並行して進める必要があり、工程管理や作業精度の重要性を再認識する機会となりました。また、実際に車両へ搭載する中で、設計段階では見えにくかった干渉や取り付け剛性に関する課題も顕在化し、今後の設計改善に向けた具体的な知見を得ることができました。

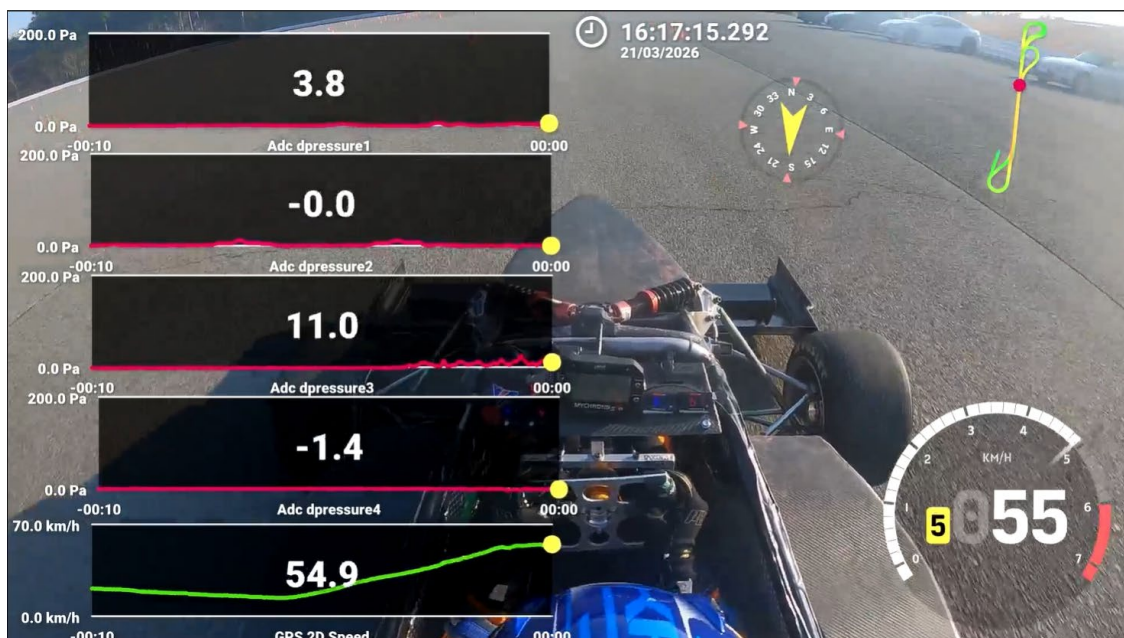


Fig.10 富士試走での実測の様子



さらに、富士試走においては短い走行時間ではありましたが、サイドポッドおよびラジエーター周辺の空気の流れに関する計測を実施しました。これまで主にシミュレーションや設計ベースで検討してきた空力挙動について、実測データとして取得できたことは非常に有意義であり、「実測に基づいた開発」という今年目標の一つを達成することができました。取得したデータからは、流入空気の挙動や冷却系への影響についていくつかの傾向が確認されており、今後の解析の深化に繋がると考えています。

今後は、今回得られた実測データと設計値・シミュレーション結果との比較検証を行い、精度向上と設計最適化を進めていきます。また、明らかになった課題についても優先度を整理し、改善サイクルを回すことで、より高いレベルの車両完成度を目指してまいります。



スポンサー様一覧

HONDA

Tools by Sanjo Niigata

KYOWA **ONO SOKKI** **ThreeBond**

digiCraft **SOLIDWORKS** **IDAJ** **JARI** **KIMURA**

NATS 学校法人 日栄学園 日本自動車大学校 **VI-GRADE** **HEXA JAPAN** **株式会社 日研製作所**

sgl carbon **enable** **SANYO Inc.** **株式会社 三陽** **シケマツ** **HKS**

WAKOS **HTFT** **Honda TechnoFort** **住友電装** **Fomo Japan**

ANA Tech **KYOWA** **ATJ** **ST-LINK** 株式会社 エステーリンク

THK **NSK** **LECOFRAME** **OUTSTA** **BUSYU** BUSYU KOGYO CORPORATION

HI-LEX Toray Carbon Magic Co.,Ltd. **SANGO** **F-Tech** ティエステック株式会社

FUKAI **3.peaks** **ANEX** **KEIBA** **MATUI** **NIFCO** **Anker Innovators JAPAN**

ねじのハマノ **TESEC** **X.A.M.** **XENOVA** **ITS** TOTAL TECHNICAL SOLUTIONS

DIXCEL **southco** **U-KART CIRCUIT** **パナソニック** **igus** plastics for longer life

FESTiKa **K's Design&Paints** **Hitachi Astemo** **WD-40** **公進ケミカル株式会社**

GH CRAFT Art & Science Composite Design, Engineering & Manufacture **BILLION** **EK CHAIN** **Kinokuni** **三協エーエー** SANJO WASHIURA CO.,LTD.

NOK **手将** **STF** **NDC** **NHKニッパツ** **(有)齊藤塗装**

工学院大学校友会 工学院大学機械系同窓会 工学院大学学生フォーミュラ OB 会

工学院大学 自動制御研究室



連絡先

工学院大学 学生フォーミュラプロジェクト

工学院レーシングチーム (KRT)

顧問

工学部 機械工学科

自動車音響振動研究室 山本崇史 教授

メールアドレス : takashi_yamamoto@cc.kogakuin.ac.jp

2026 年度チームリーダー

工学院大学 先進工学部 環境化学科 3年 石井伶奈

メールアドレス : s324006@ns.kogakuin.ac.jp

住所 : 〒:192-0015

東京都八王子市中野町 2665-1 工学院大学八王子キャンパス 17号館 1階夢づくり工房

WEB page: <https://www.ns.kogakuin.ac.jp/www1032/>

Facebook: <https://www.facebook.com/KogakuinRacingTeam>

Twitter: <http://twitter.com/kogakuinrace>

Instagram: https://www.instagram.com/krt_fsae/

